

認知症の人にとって大切なこと

認知症には、原因となる疾患によって、アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、レビー小体型認知症などがありますが、全体の7割を占めているのがアルツハイマー型認知症です。

このアルツハイマー型認知症は、症状は比較的ゆっくりと進行し、機能低下は全般的に進みます。「いつどこで」という出来事の記憶（エピソード記憶）が著しく悪くなり、出来事全体を思い出せなくなるのが特徴です。

認知症になったからといって、何もできないわけではないわけではありません。今までできていたことがうまくできなくなったり、何となくおかしいことに、誰よりも本人が戸惑い、苦しい思いをしています。だからこそ、周りの人がその気持ちを理解し、寄り添うことが大切なのです。認知症を他人ことからわしごとへ。誰もが自分らしく、安心して暮らせる未来にしていきたいと思います。



出典：埼玉県福祉部地域包括ケア課
みんないつかは年をとる⑥認知症対応編

